

# ●それいけ!“くだぐだ”力 —幼児期中期の発達—

1月30日(土)

12:00 受付開始



13:00

## 発達保障の課題 2016

人間発達研究所

14:00

発達保障にかかわる情勢や、今回とりあげる発達の時期の実践課題など、講座開催にあたって考えあいたい点を提起します。

## 第1講義

14:10

### 「ヒトはなぜ絵を描くのか」

齋藤 亜矢 さん (中部学院大学)

15:40

発達の過程で幼児がはじめて描くのは「なぐりがき」です。筆記具を持つ手を動かすと紙の上に軌跡が現れます。身体的な探索としての「なぐりがき」は、やがてまとまりを持ち、3歳ごろに何かを表す絵(表象画)が生み出されるようになります。この背景には、どのような認知発達があるのでしょうか。進化の隣人であるチンパンジーとの比較からみえてきたヒトならではの特性とは? 比較認知科学の視点から、絵を描くことの起源について考えます。

## 第2講義

16:00

### 「3歳児の保育を楽しむために

—発達心理学と保育実践から3歳児の魅力に迫る—

平 沼 博 将 さん (大阪電気通信大学)

17:30

つい目の前のものに心奪われてしまう……、自分のことはそっちのけで友だちを手伝おうとする……、何にでも興味をもって「なんで? どうして?」と周囲の大人たちを困らせる……など、まだまだ「半人前」なのに一人前意識はしっかり持っている愛すべき「イチチョマエの3歳児」たち。一方で「一人ひとは面白くて、かわいいんだけど、集団保育になるととっても大変!」という声をよく聞きます。本講義では、これまでの発達心理学や保育実践の成果から「3歳児の保育を楽しむヒント」を探ってみようと思います。

## 特別講義

19:00

### 「沖縄戦と福島震災によるトラウマ反応」

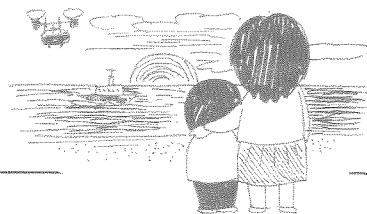
蟻塚亮二さん（メンタルクリニックなごみ院長）

沖縄戦による PTSD その他のストレス症候群を説明し、特に、「戦後 18 年たって少年非行大爆発」にふれます。戦争が子どもの子どもの心に影響したと考えられるからです。

また、福島の震災がもたらしたストレス症状と、震災前に前駆していた心理的虐待などのトラウマ記憶についてふれます。

蟻塚亮二さん：福井県生まれ。青森で精神科医となり、診療や精神鑑定に携わる。2004 年に沖縄に移住。診療とともに沖縄戦由来の精神疾患の調査診療にあたり、2013 年からは福島県相馬市にて東日本大震災や原発事故の被災者の診療に携わる。

20:30



1月31日(日)

## 第3講義

9:00

### 「あなたの中に私をみる・私の中に未来をみる」

中村隆一さん（人間発達研究所所長・立命館大学）

前回に続き、2歳半ばから4歳半ば頃までの時期（“対の世界”）を、4歳半ば頃の発達の節目を念頭に置いて取り上げます。

“対の世界”は、「あれ」も「これ」も自分の物、「ああいえばこういう」、「甘え」と「自分で」が同居……、とらえどころのない姿が目立ちます。でも、このとらえどころのなさには、「アッチ」と「コッチ」の両極を揺れている証拠です。そして、こうしてたっぴりと揺れることができるのは、それを可能にする心の支点がしっかりしているからです。

今回は、こうした揺れの振幅が大きくなって、発達における〈変身の術〉をつかって新しい発達の節目をつくらうとするまで、をたどります。

12:20

keyword “対の世界” 自己復元力 自己理解 2次元可逆操作

## 第4講義

13:40

### 「社会のしくみのかじり方」

石川康宏さん（神戸女学院大学）

安保法（戦争法）が成立し、政治の方向を憲法が決めるという立憲主義の制度と思想が大きくゆらがされています。採決を強行した政府は、この先に「新憲法制定」（改憲）を目指していますが、問題は第9条だけではありません。自己責任に加えて、家族責任も明記する自民党の改憲案は、国家による国民の生存権保障（第25条）を根こそぎ破壊しようとするものになっています。この歴史の大きな岐路に立って、私たちに何が求められているのか。そこをいっしょに考えてみたいと思います。

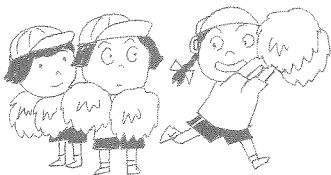
15:10

おすすめ 石川康宏『社会のしくみのかじり方』（新日本出版社、2015）

# 人間発達講座

ひととしていきる 第4回

「それいけ!“ぐだぐだ”力—幼児期中期の発達—」



主催 人間発達研究所  
後援 滋賀県 滋賀県教育委員会(依頼中)  
滋賀県社会福祉協議会

人間発達講座「ひととしていきる」の4回目です。今回も2歳半ばから4歳半ばまでの発達に焦点をあてます。やりたいのにやりきれない、思い通りにいかなくてイライラ、「頑張り、自分！」と励まし、何度も挑戦して、ぶつかりながら少しずついろんなことができるようになっていきます。そのプロセスは、“ぐだぐだ”もの。いっぱい思いを心の中で渦巻かせ、揺れながらの姿がそこにあります。でもそんな“ぐだぐだ”こそが、自分を好きになること、仲間を信じる心を育む基盤になるのです。

そして実は、今の大人たちも同じ。“ぐだぐだ”の中から「民主主義って何だ？」と若者たちが叫び、「人間らしく生きたい」と憲法25条集会で声高らかに訴えています。

「それいけ!“ぐだぐだ”力」。子どもも大人も“ぐだぐだ”しながら人間関係を太らせ、人間的価値をわがものにしていく。そのことをこの講座で確かめあいましょう。

- 日 時 2016年1月30日(土)～31日(日)
- 会 場 大津プリンスホテル 定員 600人  
(滋賀県大津市におの浜4-7-7) Tel 077-521-1111
- 参加費 11,000円(人間発達研究所会員 8,500円)  
※25歳以下の方には5,000円をキャッシュバックします。
- 申込方法 専用申込用紙で1月15日(金)までに  
食事・宿泊は別添申込用紙にて直接JTBにお申し込み下さい
- 参 加 問 合わせ 人間発達研究所  
〒520-0052 大津市朝日が丘1-4-39 梅田ビル3F  
Tel/Fax 077-524-9387 Email j-ih63su@j-ihd.com URL <http://www.j-ihd.com/>

## ●申込方法

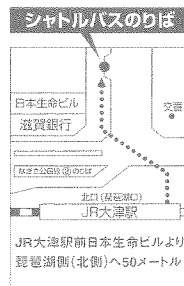
- (1) この参加申込用紙は「人間発達講座」専用です。必要事項をもれなくご記入の上、郵便局にご持参下さい。会費の送付には使用しないで下さい。
- (2) 個人申込用ですので、1人で1枚をご使用下さい（職場から集団でのお申し込みや、出張扱いで払込先が銀行口座になる方は、人間発達研究所までお知らせ下さい）。
- (3) 食事について、ホテル（会場）の管理上の理由から、持込をお断りしています。ホテルが食事を用意しますので別添申込用紙にてJTBにお申し込み下さい。周辺（徒歩10～15分）にレストランもあります。
- (4) 宿泊は、別添申込用紙に記入の上、JTBにお申し込み下さい。
- (5) 申込締切：1月15日（金）消印まで。
- (6) 受講票をお送りします。受講票がお手元に届いた時点で受付完了です。講座当日は受講票にて受付をいたします。
- (7) 介助（移動・情報保障）の必要な方は、手配の都合上、早めに人間発達研究所までお知らせ下さい。
- (8) キャンセルされる場合は、FAX、メール、あるいは郵送で、住所・氏名・返金先銀行口座情報をご記入の上、人間発達研究所までご連絡下さい。消印をもって次のように処理します（必ず研究所からのキャンセル受付の返信をご確認下さい）。食事と宿泊に関する変更やキャンセルは、JTBにご連絡下さい。

## ●参加費の取消料について

1月15日まで	不要
1月16日～1月22日まで	20%
1月23日以降	100%

（路線バス） ※ JR 大津駅→大津プリンスホテル  
 （プリンスホテル無料シャトルバス） ※ JR 大津駅→大津プリンスホテル

8時	15	55	8時	30
9時		35	9時	00 30
10時	15		10時	00 30
11時		35	11時	00 30
12時	15	55	12時	00 30



## ●25歳以下の方のキャッシュバックについて

2015年4月1日現在の実年齢が25歳以下の方を対象とします。講座当日、生年月日のわかるものをご持参、ご呈示下さい。受付にて5000円のキャッシュバックをいたします。

## ●交通案内

- JR 京都より10分。琵琶湖線大津駅下車。
- ・路線バスの利用は、2番乗場からプリンスホテル行き（所要約15分、料金210円）、または＜湖岸経由＞石山駅、＜近江大橋経由＞草津駅西口行き乗車、「西ノ庄」下車（所要約15分、料金210円）徒歩5分。
  - ・受講者専用のバスを用意します（30日講義終了後、31日講義終了後ホテルからJR大津駅）。
  - ・タクシーの利用は所要約10分。
  - ・参加者のホテルの駐車は無料です（無料駐車券をお渡しします）。

